



第412号

2021年5月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya-diocese.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行



ラウダート・シ 特別年 2020年5月24日(日) 2021年5月24日(日)

ヨセフ年 2020年12月8日(日) 2021年12月8日(日)

教区ホームページ

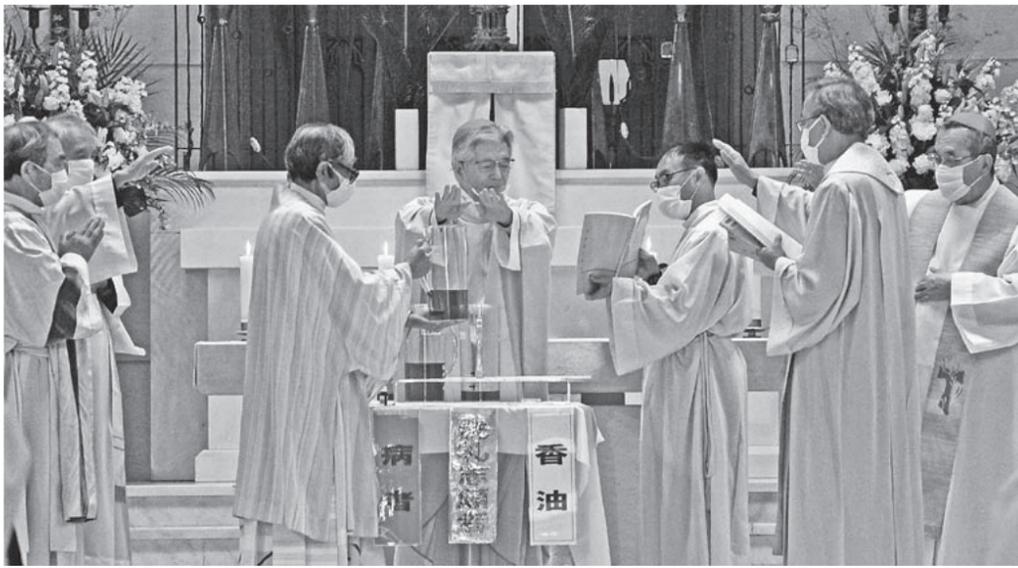
福音のひびき

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates like 2日, 9日, 16日, 23日, 30日 and events like 復活節第5主日, 復活節第6主日, etc.

# 聖香油ミサと 司祭・修道者の金銀祝

## 司祭は、教会が貧しい人々に 喜びのメッセージを伝える 共同体になるために働くこと

聖週間の水曜日3月31日のミサを執り行った。日、司教座聖堂である布池教会で、松浦悟郎司教は名古屋教区各地から集まった司祭たちと聖香油



聖香油ミサで司祭の役割について話す松浦司教

徒も参加して行われた。聖香油のミサではその年に用いられる「病者の油」「洗礼志願者の油」の祝福、「聖香油」の聖別が行われ、また司祭の約束の更新が行われる。松浦司教は、油を注ぐという司祭の役割について話し、「司祭は油を注がれて司祭となるが、今度はその同じ油を人々に注ぎ、こうして信徒と司祭は結ばれて、それぞれの役割は違うがお互いかけがえのない役割を果たしていく。しかし何のために油を注ぐのか、その目的を忘れてしまっていないか、教会の使命を怠っていないか」と問いかけた。そして司祭の約束の更新のために二つの心掛けを示した。

一つは「司祭は、教会が貧しい人々に喜びのメッセージを伝える共同体になるために働くこと」、二つ目は「毎日捧げるミサと教会の祈りを大切にしたい。なぜならミサのたびに集う食卓には、そこにいる人だけではなくすべての人が招かれている。また教会の祈りは詩編が中心で、詩編には、神への賛美だけでなく、苦しむ人の叫びが多くてくる。詩編を唱える時、こうした人々の叫びを私たちの祈りとして神に届ける意味がある」。そして信徒たちにも司祭、司教のため祈ってほしいと結んだ。説教に続いて「司祭の約束の更新」が行われ、司祭団は一致して司教の「一つ一つの問いかけに力強く答えた。

聖香油ミサ閉祭の儀の前に、名古屋教区で福音宣教の先頭に立って熱意を燃やし、現在も活躍されている司祭、修道者、奉献生活者の金銀祝のお祝いが行われた。司教は長年活躍されてきた方々にねぎらいの言葉をかけ、金銀祝を受けた一人ひとりに、記念品と花束が贈られた。また、洗足カルメル修道会から名古屋教区司祭



司祭叙階(金祝) Fr. フォンツ・マルセリーノ(クラレチアン宣教会) Fr. ダシオン・ヨゼフ・ブルノ(神言修道会) Fr. 大瀬高司(洗足カルメル修道会) 修道者・奉献生活者誓願(金祝) Sr. フランチェスカ・ワンダ・ザノッティ(幼き聖マリア修道会) Sr. 福井節子(幼き聖マリア修道会) Sr. 尾崎世栄子(聖霊奉侍布教修道会) Sr. 武田ミエ子(聖霊奉侍布教修道会) Sr. 伊藤伎余子(聖霊奉侍布教修道会) Ms. 上羽緑(聖マリア在俗修道者・奉献生活者誓願(銀祝) Sr. 信条希望(聖マリアの無原罪教育宣教修道会) 金銀祝を受けられた方の、メッセージは3面に掲載。

# 新教皇大使の任命について

教皇フランシスコは3月11日付で新駐日教皇大使として、イタリア出身のレオ・ボツカルデイ大司教を任命したことを発表した。レオ・ボツカルデイ大司教は本任命までイランの教皇大使を務めていた。レオ・ボツカルデイ大司教は1953年4月15日、イタリアのサンマルティノ・イン・ペンシリ

所での聖座常任オブザーバーを務めていた。07年から13年まで駐スーダン・エリトリア教皇大使を務め、13年7月11日、駐イラン教皇大使に任命。イタリア語とフランス語、英語、スペイン語を話す。 当日は、事前に収録された特別インタビューとして、カリタス大船渡ベースの菅原圭一ベース長に話を聞いた。 「コロナ禍の影響で、すべてのボランティアの受付の中止を余儀なくされる中、限られたスタッフで、被災地の人びとに寄り添い、生活を支え続けていくこと。コロナ禍が治まったら、また是非東北を訪れ、少しづつ変化する被災地の様子を確かめてほしい。そして、被災地で見たこと、聞いたことを、今度は自分たちの命を守るために必ず役立ててほしい」と話したのが印象的だった。

# 「愛のよろこびの家族年」 始まる

期間は2021年3月19日(日) 2022年6月26日(日)



Amoris Laetitia Family Year 2021-2022

「聖ヨセフの特別年」と並行して、教皇フランシスコの使徒的勧告「愛のよろこび」発表5周年を記念する「愛のよろこびの家族年」が3月19日に始まった。この「愛の

「愛のよろこびの家族年」開催前日の3月18日、「教皇庁信徒・家庭・いのちの省」はこの特別年の目的、概要を説明した。同省長官ケビン・ジョセフ・ファレル枢機卿は「家庭は司牧的ケアと、献身、家族と司牧者の協力を必要としている」と述べ、この特別年が、家庭を司牧活動と社会の中でより

主役にするための助けとなることを願った。 また、「パンデミックという困難の時こそ、キリスト教的家庭の姿を真の『善き知らせ』として示すべき」と。家庭はわたしたちの最も正真で最も根源的な人間関係を守る存在であり続けると述べたファレル枢機卿は、シノドスの長い歩みの実りである。 教皇の使徒的書簡「愛のよろこび」を、教会の中だけでなく、家庭の中にも手に取り、その豊かな内容に改めて触れるよう勧めた。 また同枢機卿は、この特別年を困難を抱えた家庭に寄り添い、危機にある夫婦や家族を導き、孤独な人や、貧しい家族、分裂した家族を支える機会とするよう呼びかけた。 (富山地区社会委員会)



高見三明大司教

教皇フランシスコが「ヨセフ年」を設けられたことについて、日本カトリック司教協議会会長・高見三明大司教が談話を発表した。また、それに合わせて「いのちを守る聖ヨセフ」と題するカテケージス(要理)を提供された。「談話」によって私たちはフランシスコ教皇がヨセフ年を設けた意義の概要を知ることができる。詳しくは、使徒的書簡『父の心で』を読もう(カトリック中央協議会ウェブサイトで全文公開。小冊子(165円)も発売中)。

また、イエスの養父、マリアの夫で大工であった聖ヨセフの信仰はどのようなものだったのか。高見大司教の「カテケージス」を味わって、ヨセフの人物や生き方を学び、私たち一人ひとりの回心につながることを願います。本紙では「カテケージス」を2回に分けて掲載します。今回の内容は「1 マリアの尊厳を守るヨセフ」と「2 神のお望みを実行する人」です。次号では、3と5を紹介いたします。

# 日本カトリック司教協議会会長談話

昨年12月8日、フランシスコ教皇様は、教皇ビオ九世が聖ヨセフを「カトリック教会の保護者」と宣言されてから150年になるのを記念して、使徒的書簡『父の心で』を発表され、2020年12月8日と2021年12月8日を「ヨセフ年」とすると宣言されました。また昨年12月27日には、2021年3月19日と2022年6月26日を「愛のよるこび」家庭年」とすると発表され、さらに今年1月31日に、2021年から7月第4日曜日

1年から7月第4日曜日「祖父と高齢者のための世界祈願日」とすると発表されました。こう見ますと、教皇様は、これから少なくとも1年余りの間、コロナ禍でつらい状況にあるわたしたちが、とくに家族のことを思い、大切にすることを、大切にしよう、と呼びかけておられるのではないのでしょうか。それも、「すべての人は兄弟姉妹です」と強調される教皇様のお考えを合わせますと、血縁の家族だけでなく、共同体、地域、国、国際社会なども家族と見なして、それぞれを大切にしていくことではないかと思えます。

さて、教皇様が「ヨセフ年」を設けられたのは、聖ヨセフへの信心を深め、取り次ぎを願う、徳に倣うためです。それによって、共同生活、地域、国、国際社会なども家族と見なして、それぞれを大切にしていくことではないかと思えます。

「いのちを守る聖ヨセフ」についてまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

2021年3月4日

く、共同体、地域、国、国際社会なども家族と見なして、それぞれを大切にしていくことではないかと思えます。

さて、教皇様が「ヨセフ年」を設けられたのは、聖ヨセフへの信心を深め、取り次ぎを願う、徳に倣うためです。それによって、共同生活、地域、国、国際社会なども家族と見なして、それぞれを大切にしていくことではないかと思えます。

「いのちを守る聖ヨセフ」についてまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

2021年3月4日

昨年12月8日、教皇フランシスコは、教皇ビオ九世が聖ヨセフを「カトリック教会の保護者」と宣言されてから150年になるのを記念して、使徒的書簡『父の心で』を発表され、2020年12月8日と2021年12月8日を「ヨセフ年」とすると宣言されました。2014年からミサ第2と4奉獻文の取り次ぎの祈りに聖ヨセフの名が加えられたことは、「ヨセフ年」の準備にもなったようです。

なお、教皇ビオ九世に「いのちを守る聖ヨセフ」についてまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

2021年3月4日

## 司教協議会会長カテケージス

### 「いのちを守る聖ヨセフ」

はそのことをまだ知らなかったようです。もし婚約者のマリアがほかの男性と関係を持ったのであれば、姦通罪を犯したことになる。ヨセフは、律法に従って、マリアと相手の男性を訴えて、死刑を求刑することもできた(レビ記20・10参照)。

それが「正しい人」のすることでした。

「正しい人」とは、何よりも律法を忠実に守る人のことだったからです。実際ヨセフは、息子イエスの割礼と奉獻、過越祭のエルサレム巡礼などの掟を守る、正しい人でした。しかし彼の正し

さは、単に律法を忠実に守ることだけではなく、それ以上に人の尊厳を守ることが優先させることにありました。

ヨセフは、マリアを信頼し、尊敬していたので、マリアの女性としての尊厳を守ろうとしたのです。ですから、苦しみました末であったと想像されますが、「マリアのことを表さずにするのを望まず、ひそかに縁を切る」と決心(マタイ1・19)しました。そこには婚約者マリアに対する愛に満ちた気遣いがありました。彼の正しさは真のやさしさであったと言えます。ヨセフの行動は、

どんな非難や中傷を受けるかわからない状況の中で、「恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである」という主の言葉を受けました。しかしそれに対して何の説明も求めず、言われたとおりに実行しました(マタイ1・20-24)。

婚約者の違反を訴えて求刑することは回避したものの、神のお望みは、恐れずにマリアを妻として迎えることでした。神の計画の中で生かすことを望まれたのです。

ベツレヘムでイエスが生まれた後、主のみ使いから、エジプトに逃げるように、そしてその後イスラエルに戻るよう言われた時も、それを神の望みとして受け入れ、何の疑いもなくすぐに実行しました(マタイ2・13-23)。神に全幅の信頼をおいていたからです。

もちろん、マリアと同様、ヨセフもイエスについてシメオンの話に驚いたり(ルカ2・28-33)、神殿での12歳のイエスの言葉の意味がわからなかったりしました(2・50)。それでも、イエスとマリアを中心にして生活を切り開いていきました。

(次号に続く)

1. マリアの尊厳を守るヨセフ

ヨセフはマリアと婚約していましたが、律法の上で二人は夫婦同様に見なされていません。ところが、ヨセフは身に着えがないのに、マリアが子を宿していることを知りました(マタイ1・18)。マリア自身は、天使のお告げで、聖霊の働きによって子を産むと言われましたので、それを信じ受け入れました(ルカ1・26-38)が、ヨセフ

神に信頼して実行することこそ重要なのです。このヨセフの信仰は、アブラハムの信仰に似ています。アブラハムも故郷を去って神が示す地に行くように言われたとき(創世記12・1-6)、高年齢と不妊の夫婦に子どもが生まれると告げられたとき(15・4-6、18・10-15)、その一人息子をささげよと命じられたとき(22・1-13)、一言も疑問や不平の言葉を発することなく神のこゝとばかりに実行しました。

### 世界広報の日・献金 5月9日

福音宣教はわたしたちの使命です。「世界広報の日」は、この福音宣教の分野の中でもとくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画などの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。日本のようにマスクや技術の進歩している国で、広報が社会や文化に及ぼす影響ははかりしれないものがあります。広報の重要性を再認識し、広報を通して社会と人々にどのようにかかわっていくことができるか、また、実際どのようにかかわっているかを考えることが大切です。「世界広報の日」は、第2バチカン公会議で定められ、1967年以来、毎年、特別のテーマが決められ、教皇メッセージが出されています。

# 2021年金銀祝の方からのメッセージ

金銀祝を迎えた司祭、修道者、奉獻生活者のメッセージを抜粋して掲載します。

(一面関連記事)

## 司祭叙階(銀祝)

Fr.大瀬高司(洗足カルメル修道会)

初代貴ノ花、藤島親方が弟子をスカウトする時、「年齢相応の子供らしさ」が感じられるかどうかを見ている...という投稿記事がありました。召命に関しても同様なことと言えると思います。常々重視しているのは「目」。年齢を問わず、目力のある方は、まず安心です。

## 司祭叙階(金祝)

Fr.フォンツ・マルセリーノ(クラレチアン宣教会)

1973年、日本に来て、がっかりしたことが一つありました。第二バチカン公会議が終わってから10年もたっていたのに、日本の教会にはその刷新があまり見られなかったことです。刷新のプロセスに参加させていただき、それは大きなお恵みとなりました。

Fr.ダシオン・ヨゼフ・ブルーノ(神言修道会) 司祭叙階のモットー「御心のままに」(マタイ



金銀祝のメッセージを話すマルセリーノ神父(左)、ブルーノ神父(中)、大瀬高司神父。

26)。司祭叙階の恵みを受けてから25周年、これは「司祭になる」ための第一歩にすぎないと思っています。神様は多くの皆さんの温かい眼差しや多くの出来事を通して、私を見守り、導いてくださいました。

## 修道者・奉獻生活者誓願(金祝)

Sr.フランチェスカ・ワング・ザノッティ(幼き聖マリア修道会)

幼い時からシスターになる夢がありました。20歳になってこの夢は実現し、イエスの足跡に従って歩んで来りました。愛と恵みの50年でした。神の愛、神の忠実さを賛美したいのです。振り返ってみると、心の中に喜びと幸せしか湧いてきません。

Sr.福井節子(幼き聖マリア修道会)

洗礼の恵みを受けて、主に自身をお捧げすることを心に留めました。人生の岐路に立ち、奉獻生活の意志を指導司祭に伝えると、「その言葉を守っていました」という返事をもたらしました。神様の同意を得たという喜びのうちに、修道会に入会しました。

Sr.尾崎世栄子(聖霊奉侍布教修道会)

入会の日からイエス探しが始まりました。今になって分かったことは、イエスはすでに私の心の奥深くに住んでおられ、私が気づくのを待っておられたということです。



記念の花束を受けメッセージを話す修道者、奉獻生活誓願の皆さん。

イエスを見えるように、イエスの声を聞けるように、と。

Sr.武田ミエ子(聖霊奉侍布教修道会)

洗礼を受ける前に聖霊会に入会することを希望していました。受洗してから2年後、両親に入会したいと伝えると、父は猛反対でした。しかし、シスターたちの生活を見て、それまでの態度は一変し、「お前が一番親孝行だ」と言ってくれました。

Ms.上羽緑(聖マリア在俗会)

この50年は、「神様の導きに感謝！」の一言に尽きます。在俗奉獻者と

して、社会の多種多様な価値観を持った人々の中で共に生きることは、日々自分との闘いでした。出会いや経験を通じて、神様の前で少しずつ素直になっていけたのではないかと思います。

修道者・奉獻生活者誓願(銀祝)

Sr.信条希望(聖マリアの無原罪教育宣教師修道会) 私の召命のためにいつも祈り、信仰の模範となってくれた両親に感謝します。韓国から来日して20年経った時、帰化しました。理由の一つは、子供の時に見てきた、韓国に帰化して奉仕する宣教師の方々の姿でした。

(日本カトリック司教協議会会長談話 英語版)

## THE YEAR OF SAINT JOSEPH

### A Statement by the President of the Catholic Bishops' Conference of Japan

On December 8, 2020, Pope Francis published an apostolic letter, *Patris Corde* (With a Father's Heart) to mark 150 years since Pope Pius IX declared St. Joseph Patron of the Universal Church. Pope Francis declared December 8, 2020 to December 8, 2021 as the "Year of St. Joseph."<sup>1</sup>

Then, on December 27, he announced that the period March 19, 2021, to June 26, 2022, will be *Amoris laetitia* Family Year, a time to reflect upon his apostolic exhortation, *The Joy of Love*. And last January 31, the pope announced that from now on the fourth Sunday of July will be the World Day for Grandparents and the Elderly.

We can see that Pope Francis is calling upon us who have endured more than a year facing the coronavirus pandemic to especially think of and cherish our families. However, in light of the pope's insistence that all men and women are brothers and sisters, this should mean that our families are not merely a matter of blood, but include all communities, regions, and nations - the whole world.

Pope Francis has established the Year of Joseph in order to deepen our trust in St. Joseph, to ask for his intercession, and to imitate

his virtues. In the pope's apostolic letter, he considers the image of St. Joseph as father and lists seven characteristics to keep in mind in this pandemic calamity. These traits apply to all of us, not just fathers. Please read *Patris corde* and deepen your friendship with St. Joseph.

The Church has long been devoted to St. Joseph and long sought his intercession. Let us pray that through the intercession of St. Joseph our faith and love will be purified, and that this plague will end as soon as possible.

In addition, in my catechesis as president of the bishops' conference and in connection with the Year of St. Joseph, I have offered thoughts on "St. Joseph, Protector of Life" (in Japanese). I hope you will reflect on them.

<sup>1</sup> Pope Francis, Apostolic Letter *Patris Corde*: On the 150th Anniversary of the Proclamation of Saint Joseph as Patron of the Universal Church March 4, 2021 Joseph Mitsuaki Takami, P.S.S. Archbishop of Nagasaki President, Catholic Bishop' Conference of Japan-

### 名古屋教区力障連の四旬節黙想会

## 主に「切り取られて生きる」

受難の主日を翌日に控えた3月27日、南山教会マリア館ホールにおいて、第33回名古屋教区障害者連絡会黙想会が、浅井太郎神父(東京カトリック神学院)の指導で行われた。参加者は60人余り。遠くは長野や富山からも参加があった。聖アウグスチノ会の桑原篤史神学生も参加した。

黙想会中はコロナ対策がとられ、ミサも歌唱なしで行われた。受付の後、希望者には手話などでゆるしの秘跡が授けられた。

ミサの説教のなかで浅井神父は教皇様が来日された時のテーマ『すべての命を守るため』という言葉を用いて、「私たちは神様に切り取られた存在であり、

障害者の悲しみ苦しみはその証であり、それが主の恵みである。イエスにつながっているかぎり希望が与えられる」と話した。

続々総会では、新役員紹介があり、新しい体制で頑張っていくと、富永諒会長が決意を表明した。新役員は、協力司祭・山野聖嗣神父、会長・富永諒、副会長・久保田忠郎、平出孝、書記・富永里美、会計・深田逸子、役員・江戸徹、山田昭義、人口母絵、写真。事務局は未定。

お昼の後、黙想会では普段あまり注目されることのない中部地方のキリシタンについて、第一部では歴史の概観、第二部では本題の尾張美濃キリシタン殉教者について、浅井神父の話を聞いた。

キリスト教の布教により尾張では、今の美和町花正を起点に、稲沢、一宮、江南、犬山を一直線に結ぶように北へ、北へと信者が広まっていったこと。26聖人のうち5人の出身教会が一宮教会とされていること。そしてキリシタン迫害は、権力者が変わるたびに、セレモニーのように行われていたこと。一年で1000人以上



障害者の黙想会で説教をする浅井太郎神父



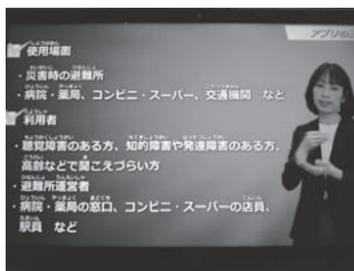
障害者連絡会の今年度役員の方たち。

### AJUチャンネル

## 障害のある方等を支援する「コミュニケーション支援アプリ」の公開

災害時の避難所などで、聴覚に障害のある方など、会話によるコミュニケーションが困難で支援が必要な方に円滑にコミュニケーションを図ることができ、文字やイラストを使って、情報の伝達や意思疎通を行うことができる「コミュニケーション支援アプリ」を愛知県が制作し公開した。

制作は愛知県福祉局福祉部障害福祉課で、紹介動画に携わったのは社会福祉法人AJU自立の家(以下わだち)が制作し、わだちで働く4人も出演している。わだちで撮影編集も行ない、ナレーションは自立の家勤務の村上かつさんが勤めている。このプロモーション動画は3月23日に愛知県知事会見で公開された。



使用場面  
- 災害時の避難所  
- 病院、薬局、コンビニ、スーパー、交通機関 など

利用シーン  
- 聴覚障害のある方、知的障害や発達障害のある方、高齢などで聞こえづらい方  
- 避難所運営者  
- 病院、薬局の窓口、コンビニ・スーパーの店員、職員 など

ダウンロードサイト  
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sho...>

☆利用者は聴覚障害のある方、知的障害や発達障害のある方、高齢などで聞こえづら

## 名古屋教区のシエルター活動について

皆さんはシエルターの存在をご存じですか? シエルターとは避難所という意味ですが、様々な理由で行き場のない人たちを受け入れる場所です。名古屋教区もシエルターを設置しています。その取り組みについて、愛の実行運動本部代表の山田昭義さんに紹介して頂きました。

皆さんはシエルターの存在をご存じですか? シエルターとは避難所という意味ですが、様々な理由で行き場のない人たちを受け入れる場所です。名古屋教区もシエルターを設置しています。その取り組みについて、愛の実行運動本部代表の山田昭義さんに紹介して頂きました。

現在の社会にはストーカーやDV(ドメスティックバイオレンス)家庭内暴力)や困難を抱えた滞日外国人などの、居場所

がなくて、助けを求めても行く場がない人たちが多くいます。カトリック教会も全国で様々な取り組みをして支援しています。名古屋教区では難民移住移動者委員会を中心に、昨年からシエルターを男女に分けて二か所に設置し支援を始めた。その多くはベトナムの人たちだ。彼らの多くはコロナ禍により、故国に帰るに帰れなくなりました。しかも在留期間が切れてしまい、帰る飛行機も飛ばない状態の中、飛行機が飛ぶまでの

## 東日本大震災・災害支援金の最終報告

発災時よりカリタス福祉委員会へ振込まれました2020年度の支援金ご報告と2020年度の支援金先を報告させていただきます。発災から10年間 総額 32,843,959円をお寄せいただきました。暖かいご支援本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます!!

(振込手数料引去後の金額)

項目	2011.3.17 発災から	単月明細	2011.3.17 発災から
	2021.2.28までの合計	3/1~3/31	2021.3.31までの合計
収入			
支援金総額	32,551,465	292,494	32,843,959
収入合計	32,551,465	292,494	32,843,959
支出(支援先)			
カリタスジャパンへ	12,388,851	150,000	12,538,851
カリタス南相馬ベース支援	2,129,450	430,189	2,559,639
いのちの光3.15フクシマ	310,000	100,100	410,100
福島被災地(狩浦神父活動)支援	500,000	100,100	600,100
大阪教会管区 東日本被災地支援	14,306,234	0	14,306,234
オールジャパン震災支援会議交通費	123,620	0	123,620
大船渡ベースへ車いす4台贈呈	123,200	0	123,200
大船渡ベースへピアノ贈呈	58,800	0	58,800
ベース支援ボランティア交通費補助	491,150	0	491,150
さいたま教区・災害支援金へ	1,000,000	0	1,000,000
福島移住女性支援ネットワーク	490,000	0	490,000
災害支援金口座へ	141,745	0	141,745
残高証明書代金			520
支出合計	32,063,050	780,389	32,843,959

※3月度に支援金のご協力いただいた小教区、個人(敬称略)  
小教区: 金沢、春日井、瀬戸、一宮、布池、南山、鳴海・社会委員  
個人: 匿名希望1件  
今後も災害発災時には、皆様へ募金のご協力をお願いさせていただきます。引き続きご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

口座番号:  
00820-5-137456  
名義: カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会  
※お振込いただく時には、通信欄に、募金の意向先を記入願います。

ご連絡・問合せ先  
教区カリタス福祉委員会  
電話 052-852-1426  
FAX 052-852-1422

## クリスマス献金のお礼とご報告

待降節よりお願いしました「クリスマス献金」は、次のようにご厚志が集計されましたので、支援先と共にご報告申し上げます。2020年度は教会・修道会・病院・幼稚園・個人の方々より36件850,872円をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。支援をさせていただいたのは下記の団体です。心より感謝いたします。

支援先	支援金(単位:円)
福信館・炊き出し部	200,000
福信館建設	20,000
岐阜ダルク	50,000
岐阜ダルク・女性ハウス	50,000
名古屋ダルク	50,000
三河ダルク	50,000
名古屋マック	50,000
NPO法人セカンドハーベスト名古屋	230,872
RASA ジャパン	50,000
愛知聖ルカセンター・国際子ども学校を支援する会	60,000
いこいの家	50,000
合計	850,872

※いこいの家とは...  
路上生活をされている人々のお昼間のつどいの家です。カトリック、プロテスタント、仏教の方たちが宗教を越え一緒に支援しています。後援会会長はフォンツ・マルセリーノ神父(鳴海教会担当)です。

教区カリタス福祉委員会  
〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15  
電話 052-852-1426  
Fax 052-852-1422

# 正義と平和委員会「生命倫理を考える」補遺 イースターエッグから『基本的動物権』への道

3月の例会で話されたことを以下報告する。復活祭には生命の象徴としてゆでタマゴが配られる。さて、そのタマゴを無邪気にはいただけなくなった。というのは、最近、「日本のタマゴはこんなに危ない」との見出しの雑誌記事を目にしたからだ。利益を上げるための採卵鶏の悲惨な飼育状況とタマゴの汚染状態(※①)を示されて恐怖を感じた。その記事は、農林大臣が採卵業者から賄賂をもらい便宜を図った犯罪、日本政治腐敗の背景を明らかにしたなかで書かれている。

さて、タマゴをそんなに安く食べられるのはワトリに苦痛を強いているからとすると、復活祭のタマゴをむやみに喜ぶべない。新たな生命の誕生を祝うはずが、生命の虐殺に加担したことになるからだ。もちろん、これはタマゴだけではなく肉食にも当てはまる。世の中の肉食主義者は肉食動物の苦痛を敏感に受け取ったからではないか。しかし、動物たちの苦痛を知らずとも肉食を止めない、その他では神の救いから遠いのはと今更ながらおののいている。しかし、救われるために肉食を止めるのは「都合主義」だ。もつと根本的に、どうするか考えるべきだ。これも広い意味で「生命倫理」を考えることになる。

肉食問題をカトリック者の哲学者浅野幸治さんの著作(※②)から、動物にも『基本的動物権』があるから「動物倫理」として考えるべきではないかと教えられた。イエスの生涯を賭けたメッセージ「人はだれもが大切にされる」を福音と明言するキリスト者は、他者の苦痛、苦難を見過ごせない。走り寄って「隣人になる」よう、イエスから招かれている。であるなら、神が人と同様に生命を賜った動物の「隣人になる」よう私たちキリスト者は招かれているのではないか。

上記著書にも触れられているように、旧約聖書の人間論(創世記1-11章)には神の創造した世界、いわゆる、理想郷では人間や動物の食糧は植物に限定されている。しかし、人の神への背反、つまり、自己をコントロールできず、暴力性に身を任せた結果、ノアの洪水の人へ審判があった。神は新しく人と契約を交わしたとき、人間の暴力性をしぼぶ認め肉食をゆるしたとある(※③)。しかし、イザヤ書には終末の理想郷「シャローム」(生命の充実)を、肉食ではなく草食の状態と表現している(参照：イザヤ11章1-10)。「ここから、神の望まれる人間の生き方は自己の暴力性をコントロールし、他者、動物と共存

## 名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」 「自分の出来る事で活動をする」

2007年信徒協会の改革により女性部が廃止となり、野村司教より「女性の活動団体は必要でしよう」との提案を受け「カトリック女性の会」が発足した。その後、「名古屋教区カトリック女性の会」の名称で初代会長・広田幸子(江南)、2代目朝見鈴子(瀬戸)、3代目金森タイ(膳棚)、4代目平尾公子(南山)、5代目深堀芽子(膳棚)、現在は6代目平尾公子(南山)に受け継がれている。現在41名の会

員で活動をしている。樹の会は「自分の出来る事で活動をする」をモットーとしているので、特別な能力や技術は必要としないのが会の特徴であり、名古屋教区の女性信徒および会の目的に同意する未洗者も準会員として認めている。また日本カトリック女性団体連盟(日カ連)に加盟して全国の会員と繋がりをもち、活動している。

〔定例会〕  
毎月第2火曜日に定例会をするが、議事前

## 「一粒会」の年会費募金に 協力を！呼びかけ (膳棚教会)

復活の主日の4月4日、膳棚教会では、ミサの後「一粒会」の年会費の募金が行われた。一粒会を担当する大橋容子さん。



手作りの幟を立て一粒会費をと呼び掛ける大橋容子さん。

一粒会について  
一粒会は神学生の養成を援助するための活動です。「一粒会」の会員は名古屋教区民全員です。神に呼ばれているのが「召命」です。その使命

下記を行う。

- 1) 霊的読書 現在「教皇フランシスコ講話集5」を輪読して分かち合いをし、霊的読書によって精神的養成の場とする。
- 2) テーマソング マザーテレサの「私をお使いください」を歌う。
- 〔奉仕活動〕
  - ・ 聖霊修道院での奉仕
  - ・ 第3木曜日(主に掃除、洗濯、アイロン掛け、寝たがりのシスターの話相手、カードの作製、聖歌や歌の披露など)、10年間続けて来たので修道院長より「感謝状」を頂いた。写真。
  - ・ 福信館炊き出し補助 毎月第3木曜日及び奇数月第2木曜日に奉仕。
  - ・ 麦の穂学園の支援 高校卒業生にお祝の品と手作りカードを贈る。また、11月23日の同園フィステイバルに売り子として協力する。
  - ・ 老人ホーム支援 「南山の郷」みなみやまぐループホームを訪問し話相手や歌の奉仕。
  - ・ DV被害者サポート施設「かけこみ女性センターあいち」の支援 偶数月例会時に支援物資及び寄付金を集めて提供。また日カ連「いのちを守る運動」基金に申請して支援金の提供を受ける。
  - ・ 岐阜ダルク支援 「女性ハウス」の運営維持の為に手芸品を作ってその売り上げを寄付する。また、日カ連「いのちを守る運動」基金に申請して支援金の提供を受ける。
  - ・ 定例会時に日カ連「いのちを守る運動」基金・「円プリオ基金センター」等の募金箱を回して集めた募金を送金する。問合せ・連絡は深堀芽子090-1917214947

教区の皆様 大阪教区 教区長 前田万葉 大司教 大会実行委員長 松浦 謙

第41回「カトリック正義と平和全国集会大阪大会」が開かれます。  
「2021年大阪大会テーマ “すべてのいのちを守ろう”  
～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～」

2020年に世界を襲った新型コロナウイルス感染症は、わたしたちの日常を根底から揺るがし、生き方、価値観、人間関係、あらゆる面において大きな変化をもたらしました。そのような中で開かれる2021年の「正義と平和」全国大会は、この現実からわたしたちが何を学び取るか、何を問われているかを考える機会になるでしょう。教皇フランシスコは回勅「ラウダート・シ」とともに暮らす家を大切に』において、神が創造され、わたしたちに恵みとして与えられた自然と、その中で生きるすべての人間のいのちを大切にしよう訴えました。そして2019年訪日の際、「すべてのいのちを守るため」というテーマのもとに、兄弟愛の精神をもって、あらゆる人の価値と尊厳を守るように呼びかけました。

2015年の国連サミットで採択されたSDGs「持続可能な開発目標」において「誰一人取り残さない No one will be left behind」という基本理念が掲げられています。わたしたちは教皇フランシスコのメッセージに励まされ、国際社会が目指そうとする方向性と心を合わせて歩みたいと思い、これをサブテーマの趣旨に活かすことにしました。なお、2日目の玉造教会でのミサ以外は、全て分科会会場で行われます。詳しい案内は後日お知らせします。

プログラムは以下の通り。

11月22日(月) 14:00 分科会会場教会(大阪教区内 数か所)に直接集合  
14:30 分科会開始 17:00 みことばと祈りの集い 18:00 懇親会

11月23日(火) 9:00～ 分科会続き 前日の分科会の内容を踏まえて小グループ分かち合いと個人の振り返り  
2日目のみ参加できる人たち向けの特別プログラムも予定  
(昼食と移動) 14:00 ミサ 大阪カテドラル聖マリア大聖堂 16:00 閉会

問合せ ☎06-6942-1784 Email jptaikai@osaka.catholic.jp (大会事務局)

美濃・尾張キリシタン顕彰碑 建設募金のお願い2021

カトリック名古屋教区は2018年度より岐阜県可児市塩に、殉教地記念塔建設事業を推進するため、資金を募り、これまでに建設地の造成工事を完了することができました。

今後は、顕彰碑と記念塔の建設事業を進め、目標金額に届かなかった300万円分の募金活動を継続致しましょう。経済状況の非常に厳しい時期ですが、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

目標金額まで残り300万円

振込先 郵便振替 00810-5-50605  
通信欄に「美濃・尾張キリシタン顕彰碑建設募金」と明記。

問合せ カトリック名古屋教区宣教司 牧評議会殉教者顕彰委員会 担当 早川和彦助祭  
〒461-0004 名古屋市中区葵2-6-35 ☎052-936-8366 Fax 052-935-2254

完成予想図

**めぐみカン**  
**ガンバル!!**  
.....by あこ

「あなたは神を信じますか?」  
「どうかな」  
「信じますよ」  
「さあ、あなたの答えは」

でも大切なものは人間が神さまを信じているかではなく、神さまが人間を信じている

あなたが存在の大切さを信じているか、神さまは疑わない

神さまがあなたを信じますか? 信じています

- 5月の教会暦**
- 2日(日) 復活節第5主日
  - 3日(月) 聖フィリポ・ネリ司祭(祝)
  - 9日(日) 復活節第6主日
  - 14日(金) 世界広報の日(献金)
  - 14日(金) 聖マチア使徒(祝)
  - 16日(日) 主の昇天(祭)
  - 23日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
  - 24日(月) 教会の母聖マリア(祝)
  - 26日(水) 聖フィリポ・ネリ司祭(祝)
  - 30日(日) 三位一体の主日(祭)
  - 31日(月) 聖母の訪問(祝)
- 6月の主な教会暦(主日・祭日など)**
- 6日(日) キリストの聖体(祭)
  - 11日(金) イエスのみ心(祭)
  - 13日(日) 年間第11主日
  - 20日(日) 年間第12主日
  - 24日(木) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)
  - 27日(日) 年間第13主日
  - 29日(火) 聖ペトロ使徒座への献金
  - 29日(火) 聖ペトロ使徒座への献金

- 5月**
- 8日(土) 宣司評運営委員会/殉教者委定例会/信徒協幹事会/共助連絡会
  - 9日(日) 城東B会議/中高生会
  - 11日(火) 樹の会
  - 12日(水) カリタス福祉委員会
  - 14日(金) 正義と平和委定例会「学習会」
  - 15日(土) 樹の会「総会」/レジオ名古屋クリア
  - 16日(日) 城北B会議/インターナショナルミサ・中止/青年
- 6月**
- 3日(木) 司教常任委員会
  - 31日(月) 南山学園評議員会
  - 13日(木) 常任司教委員会
  - 12日(水) 社会司教委員会
  - 27日(日) 一粒会の集い(東海地区)
  - 24日(木) 司祭評議会
  - 26日(土) 濃尾B会議/典礼委員会
  - 20日(日) 愛岐B会議/青年委員会/修女連交流会
  - 19日(土) 古屋クリア黙想会
  - 17日(木) 共助連絡会総会/レジオ名古屋クリア黙想会
  - 16日(水) カリタス福祉委員会
  - 15日(火) カトリック看護協会例会
  - 13日(日) 松浦司教着座記念日/中高生会
  - 12日(土) 正義と平和定例会/信徒協役員会
  - 11日(金) 正義と平和定例会
  - 10日(木) 樹の会
  - 8日(火) 宣教司牧評議会\*
  - 6日(日) 教区顧問会\*

**告知板**

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となった行事

- ①5月16日インターナショナル・ミサ
- ②5月30日愛岐ブロック兄弟の集い
- ③5月の炊き出し

◆5月の炊き出し 木6日布池、13日南山・樹の会、20日聖霊・南山・樹の会、27日城北橋、金7日喜望の会、14日長浦・喜望の会、21日布池、28日南山

**名古屋教区信徒使徒職協議会** からお知らせ

同伴司祭として3年間私どもと一緒にしていたたいた寺尾總一郎神父様(膳棚教会)は2020年度末をもって、平田豊彦神父様(布池教会)に替わることになりました。この間、信徒使徒職について様々にご教示いただいた寺尾神父様に深くお礼申し上げます。新たに同伴司祭の役を引き受けて下さった平田豊彦神父様に心から感謝申し上げます。今後共よろしくお願い申し上げます。

(信徒協会長 滑川正雄)

**「日本カトリック映画賞」**  
**映画「コンプリシティ」**  
**優しい共犯」に決定**

放送や映画、視聴覚メディアに携わるカトリックの国際的な団体シグニス(世界カトリックメディア協議会・本部ブリュッセル)の日本組織シグニス・ジャパン(カトリックメディア協議会会長土屋至)は、2020年度第45回日本カトリック映画賞に劇映画「コンプリシティ」(優しい共犯)近浦啓監督作品(116分)を決定した。

あらずじは、病気の母と年老いた祖母を祖国に残し、借金を背負って、技能実習生として中国から日本にやってきた青年チェンと、彼が住み込みで働くことになったそば屋の主人との心のつながりを描く感動作。

10月初旬より東京アップリンク吉祥寺にて上映予定。授賞式及び監督とシグニス顧問司祭である晴佐久昌英神父とのトークを行う予定です。日時会場は未定。なお、コロナの影響で上映予定が変更になる事もある。

**カトリック名古屋教区**  
**セクシュアル・ハラスメント**  
**対応委員会**  
**ホットライン**  
**080-2625-4681**

受付 月~金(祝日除く)  
時間 10:00~12:00  
13:00~16:00  
名古屋市中区葵2-6-35  
カトリック名古屋教区センター  
相談の秘密、プライバシーは厳守します。  
安心してご相談下さい。

**一粒会・委員総会の開催**

日時 5月16日(日) 13:00~16:00  
場所 布池文化センター  
コンコルディアホール  
(布池教会境内地)  
出席者 名古屋教区全小教区の一粒子委員  
問合せ 一粒会委員長 西村由美子  
☎090-1279-9932

**大型連休の休館日のお知らせ**  
**名古屋教区本部事務局**

名古屋教区本部事務局のお休みは、4月29日、5月1日~5日まで。  
名古屋教区本部事務局  
問合せ ☎052-935-2223

**聖パウロ書院**

ご迷惑をおかけしますが4月29日、5月3日、5月4日、5月5日の祝日は休み。  
〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-2  
問合せ ☎052-936-4443

**主に捧げる24時間**  
**聖体礼拝は終了**

主税町記念聖堂の「主に捧げる24時間」は3月末で終了しました。  
主催 カトリック名古屋教区  
☎052-935-2223  
責任者 平田政信神父

**サダナ ~神への道~**  
**【入門コース】**

日時 入門B 5月23日(日) 9:30~17:00  
入門C 6月20日(日) 9:30~17:00  
指導 植栗 彌 神父(イエズス会)  
場所 聖霊会八事修道院  
ミッションセンター  
名古屋市中区八事本町1番地  
問合せ 梶上 暁子  
mail ngosdn@gmail.com  
☎050-7108-7410

ホームページはQRコード。

**パイプオルガンプランチ**  
**コンサート**

日時 5月26日(水)  
開場10:00、開演10:30~11:30  
会場 愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場 1000円(全自由席)  
プログラム 10年分のリクエストコンサート、他。  
演奏 Org. 吉田 文  
主催 名古屋オルガンの秋実行委員会  
http://organaki.exblog.jp  
問合せ 二宮音楽事務所  
☎052-505-0151

チケットは二宮音楽事務所、愛知芸文プレイガイド他。新型コロナウイルス感染拡大の状況により、演奏会を中止する場合があります。オルガン秋HP、又は二宮音楽事務所確認。

**聖マリアの無原罪教育宣教**  
**修道会**

**2021年度 聖書の学び(岐阜)**

日時 5月23日(日) パンの理解①  
日時 6月13日(日) パンの理解②  
日時 7月11日(日) 弟子となる歩みの中で①

諸事情により一週間ずれることがあります。参加希望者は日時を確認の事。  
場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会  
岐阜修道院・聖マリア女学院  
(マドンナホール)  
岐阜市福富201  
問合せ・係り シスター 礎(いかり)  
☎058-229-3985(修道院)  
携帯電話 090-3933-3220

**交通アクセス**  
JR岐阜駅から市バス12番で乗車、三田洞バス停下車(27~28分乗車)、乗車時に電話を下さい。バス停で待っています。JR名古屋駅から約1時間。自動車でも来られる方は聖マリア女学院でナビ設定。